

ヴェリタス学習会通信 75

予定表カレンダー →



令和5年6月の予定

- ・月曜日 6月5・12・19・26日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・水曜日 6月7・14・21・28日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 6月1・8・15・22・29日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
- ・金曜日 6月2・16・30日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00
23日 北勢市民会館1階リハーサル室 19:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

9日（金）は会館が貸し切りのため、お休みします。23日は19:30からです

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189（+メッセージも可能）

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay（4文字目は数字のゼロです）

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がる Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

Input と Output : インプットとアウトプット

インプット (input) は「入力」、アウトプット (output) は「出力」のことです。コンピュータの操作などで使いますが、日常生活では、人が情報を自分に取り込むことをインプットと言います。そしてインプットなどで得られた知識を他の人に伝えたり、世間に公表したりすることをアウトプットと言います。インプットがなければ、上質なアウトプットはできません。

あれやこれやでインプットの時間が取れず、アウトプットできません

この数か月、あれやこれやで時間が取られ、インプットの時間が取れません。また、この通信の内容をじっくり考えることもできません。申し訳ありませんが、以前の記事のリサイクル記事で紙面を埋めます。

私が中学生のときの定期試験対策3ステップ

私は中学生の頃、定期試験前は次の3つのステップで準備を進めました。



1. 10日前～7日前 ノートまとめ

テスト範囲を把握し、教科書・ノート・参考書等を総動員して、重要事項のまとめページを作成。教科によって何枚になるかはまちまち。このときにある程度の記憶定着ができるようにする。

2. 6日前～4日前 問題演習・弱点探し

宿題になっている問題演習や、自分の持っている問題集を実際に解いてみる。答え合わせのときに、どうしてそうなるかも調べ、同じ問題が出たらできるようにしておく。自分の弱点を見つけるとき。

3. 3日前～前日 弱点補強と記憶定着

第2ステップで発見した自分の弱点を中心に、もう一度試験範囲のまとめページを見て、記憶定着を徹底させる。必要ならば、まとめページに書き加えて弱点をカバーする。

私たちが中学生の頃は、皆さんの先生方がつくってくれるような詳細な範囲表などはなく、どこが大切かは、普段の授業の先生の観察から始めました。先生ごとに多少の違いはありましたが、それぞれの先生が強調したいと思っていることが分かるようになりました。教科書の太字等も参考にしながら、学習時間の配分等も考えました。

現在はテスト日に提出する課題が増えて、1～3ステップの日数配分が、私のように行かないかもしれません。自分に合ったスタイルを見つけていく、その作業そのものがテストの点数以上に大切なことなのだと思います。

これとは別に、数学と英語に関しては、普段から問題演習はやっていました。特に数学は5分間だけでも良いので、1日も休まずに問題を解きました。盆・正月も休まずが理想です。それらの日は、本当に5分で良いのです。ですから、特に数学に関しては、ステップ2はせずに他教科に時間を回せました。用語記憶の必要がない範囲は、ステップ1もやらなかったと思います。

大人になれば、仕事等で何かの目標を定め、そこに到達するために努力をします。中学生や高校生の方も同じだと思います。あれこれ言いながらも、児童・生徒の目標は学習事項を習得するということです。テストはその到達度のバロメーターになります。単純化すれば、テストで満点を取ることが究極の目標になります。

それを目指す中で、皆さん一人ひとりが、学習事項とは直接関係のないところで、人間的な成長ができると信じています。大まかな話でしたが、具体的な学習法についてはお尋ねください。